



# 南越前町 議会だより

2024.2

Vol.46



4年振り 待望のスキー場 再開

## Contents

- ② 年頭のご挨拶
- ③ 12月定例会報告・常任委員会報告
- ④ 特別委員会報告
- ⑤ 12月議会議決結果
- ⑥-⑧ 一般質問
- ⑧-⑨ 常任委員会行政視察報告
- ⑩ 1月臨時会報告・やすらぎ温泉 スキー場再開
- ⑪ 主な議会活動報告・能登半島地震のお見舞い
- ⑫ あなたの出番です・編集後記



# 年頭にあたり



南越前町議会議長

喜村 喜代治

新年明けましておめでとうございます。  
います。

令和6年の元旦に能登半島地震が発生し、この地震で亡くなられた方とご家族の方々には心よりお悔やみを申し上げます。

また、大地震災害に遭われた皆様には、お見舞いを申し上げますとともに一日も早い災害の復興をお祈り申し上げます。

一昨年、当町でも豪雨災害があり、被災地の復興がされてきましたが、未だ復興の進んでいないところがあり、今後も復興に向けて行政と共に議会も全力で支援を行う所存であります。

町民の皆様には、健やかに新春

をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃から町議会に対しまして、温かいご支援とご協力を賜り議員一同厚くお礼申し上げます。

議会といたしましては、本年も町民の皆様が安全で安心して暮らせる町づくり政策に対し、全力で支援してまいる所存でございますので、よろしくお願ひ申し上げます。

昨年を振り返りますと、4月には、統一地方選挙があり、杉本知事の再選、仲倉氏をはじめ37名の県議会議員の皆さんが当選されました。今後の活躍と、福井県政の発展に尽力されることを期待しております。

5月には、新型コロナウイルス感染症が「5類」に引き下げられ、観光や飲食関係に活気が戻り、今まで中止してきたイベント等も復活し町の賑わいもだいぶ回復してきましたように思います。

同じく5月に、道の駅「南えちぜん山海里」がオープンから2年目にして早くも来場者が200万人を達成したことは大変喜ばしく存じます。

6月からオンデマンドの「南越前町らくらくおでかけバス」の本格運行が始まりました。利用者の利便性の向上と、今後の公共交通を担っていくことを期待しております。

12月には、待望の今庄365スキー場が4年振りにオープンし、これからのシーズンには沢山のスキー客が訪れることを願っています。

今年には、平成17年に南越前町が誕生して、20年目の節目を迎えます。今後、更なる町政の発展を目指して行政と共に取り組んでいきます。また、町では20周年記念事

業も予定しており、町民の皆様には記念事業への参加をお願いしたいと存じます。

さて、1月5日に体験農園の「FRUITFUL GARDENひのの実」が道の駅「南えちぜん山海里」に隣接してオープンしました。この施設と道の駅の人気による相乗効果でたくさんの方が南越前町を訪れてくれるものと期待いたしております。

そして、3月16日にはいよいよ北陸新幹線金沢―敦賀間が開業になります。福井と首都圏がより身近なものとなり、新幹線の利便性を感じるようになると思います。

また、同じ日に並行在来線八ピラインふくいも開業します。今までより列車の運行の本数が増え、町民の足として利用がしやすくなることを期待しています。

結びに、令和6年が南越前町の更なる発展と町民の皆様にとってよい年になることをご祈念申し上げます。年頭のごあいさつとさせていただきます。

## 12月定例会

12月定例会は、12月8日から15日までの8日間の日程で開催されました。

### 本会議の開催

12月8日に開会し、一般会計補正予算の専決処分承認を求める1議案、一般会計および特別会計補正予算に関する8議案、監査委員の決算証書類等の審査に関する条例等の一部改正など10議案の合計19議案を上程し、関係する各常任委員会に審査を付託しました。

### 一般質問の実施

12月11日の本会議では、一般質問が行われ、議員5名が町政について町長の考えを質しました。

### 各常任委員会開催

12月12日、総務文教常任委員会を開催し、委員会に付託された議案を審議しました。

12月13日、産建厚生常任委員会を開催し、委員会に付託された議案を審議しました。

### 原子力安全対策特別委員会の開催

12月14日、原子力安全対策特別委員会を開催し、現在、定期点検中の美浜原子力発電所について、関西電力(株)から発電所の状況と使用済み燃料対策ロードマップの策定等の説明を受け、質疑を行いました。

### 本会議の開催

12月15日の本会議では採決を行い、上程された18議案が原案どおり可決され、継続審査となつていた令和4年度南越前町各会計歳入歳出決算及び水道事業会計決算を認定しました。

## 常任委員会報告

### ▼総務文教常任委員会



委員長  
城野庄一

今期定例会において、総務文教常任委員会に付託されました案件審査のため、12月12日に委員会を

開催いたしました。

付託を受けました議案第1001号「令和5年度南越前町一般会計補正予算(78号)」のうち、本委員会に関わる事項の1議案、および議案第109号南越前町監査委員条例の一部改正についてから、議案第112号南越前町宮駐車場等の設置及び管理に関する条例、および議案第115号南越前町南条創作工房の設置及び管理に関する条例の廃止についてまでの5議案につきまして、関係理事者の出席を求めて所管ごとに慎重に審査をいたしました。

採決の結果、各議案につきましては、いずれも原案のとおり認めることに決定いたしました。

### ▼産建厚生常任委員会



委員長  
山本徹郎

今期定例会において、産建厚生

常任委員会に付託されました案件審査のため、12月13日に委員会を開催いたしました。

付託を受けました議案第1001号「令和5年度南越前町一般会計補正予算(第7号)」のうち、本委員会に関わる事項並びに、議案第108号「令和5年度南越前町 水道事業会計補正予算(第4号)」等の補正予算に関する8議案および議案第113号「南越前町 国民健康保険税条例の一部改正について」等の条例改正に関する5議案の合計13議案につきまして、関係理事者の出席を求めて所管ごとに慎重に審査をいたしました。

採決の結果、各議案につきましては、いずれも原案のとおり認めることに決定いたしました。

## 特別委員会報告

### ▼決算特別委員会



委員長  
熊谷良彦

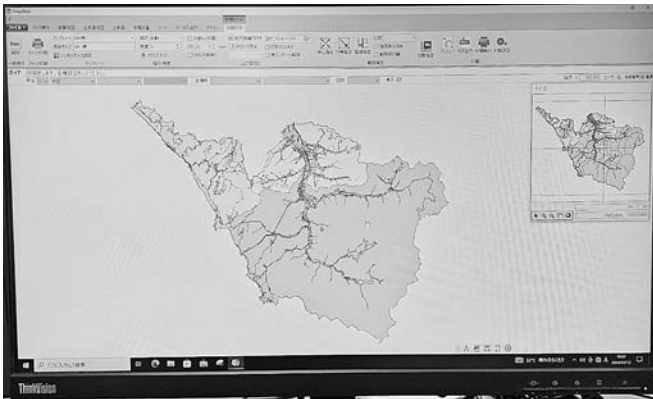
令和5年9月議会定例会で付託を受けた、議案第88号令和4年度南越前町各会計歳入歳出決算認定および、議案第89号 令和4年度南越前町水道事業会計決算認定に係る審査のため、10月6日から11月22日までの期間中の5日間、所管ごとに関係理事者の出席を求めて慎重に審査し、原案のとおり認定することに決定しました。

また、審査の過程で特に議論し、改善策などを求めた事項を報告します。

**指摘** 水道管の老朽化が進み、漏水が多いと考えられる。実施している漏水調査のデータ化に取り組み、かつ、分析し、今後は有収

率アップに向けた施策を図っていただきたい。

**回答** 令和4年度に構築した管路システムには、布設年次、修繕箇所、漏水調査の結果等を登録・抽出する機能があります。この機能を有効活用し、漏水の可能性が高いエリアを絞り込んだうえで、漏水調査を実施するとともに、先進的技術の導入についても検討し、有収率の向上に努めていきます。



管路図

### ▼原子力安全対策特別委員会



委員長  
山本 優

12月14日に原子力安全対策特別委員会を開催しました。

現在、定期検査中の美浜原子力発電所について、関西電力㈱の関係者をお呼びし、発電所の状況と使用済燃料対策ロードマップの策定の説明を受け、委員からは、乾式貯蔵施設の設定計画やその施設の安全性、そして、福島で行われている原発の処理水のトリチウムに関すること、原発施設内の除染水の処理方法、プルサーマル計画や核燃料の使用量と使用期間、ゼロカーボン社会に向けた取り組みや火力発電の今後の在り方、中間貯蔵施設や再処理工場の見通しなどの意見が出され、関西電力㈱と質疑を行いました。

当委員会としましては、乾式貯



原子力安全対策特別委員会の様子

蔵施設の安全性や使用済み核燃料の一時保管をする中間貯蔵施設や核燃料の再処理工場について、十分な回答を得ることができず、今後も原子力発電所の準立地の立場から、乾式貯蔵施設などの視察を実施し、中間貯蔵施設や再処理工場の進捗状況を事業者から随時説明を求めながら、町民の安全、安心の確保のため、委員会として継続審議してまいります。

## 【12月定例会議決結果】

議案番号	件名	議決年月日	議決の結果
議案第100号	専決処分の承認を求めることについて (令和5年度南越前町一般会計補正予算(第6号))	令和5年12月8日	原案承認
議案第101号	令和5年度南越前町一般会計補正予算(第7号)	令和5年12月15日	原案可決
議案第102号	令和5年度南越前町国民健康保険今庄診療所特別会計補正予算(第4号)	令和5年12月15日	原案可決
議案第103号	令和5年度南越前町河野診療所特別会計補正予算(第2号)	令和5年12月15日	原案可決
議案第104号	令和5年度南越前町農業集落排水特別会計補正予算(第4号)	令和5年12月15日	原案可決
議案第105号	令和5年度南越前町老人保健施設特別会計補正予算(第4号)	令和5年12月15日	原案可決
議案第106号	令和5年度南越前町介護保険特別会計補正予算(第3号)	令和5年12月15日	原案可決
議案第107号	令和5年度南越前町下水道特別会計補正予算(第3号)	令和5年12月15日	原案可決
議案第108号	令和5年度南越前町水道事業会計補正予算(第4号)	令和5年12月15日	原案可決
議案第109号	南越前町監査委員条例の一部改正について	令和5年12月15日	原案可決
議案第110号	南越前町一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について	令和5年12月15日	原案可決
議案第111号	南越前町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	令和5年12月15日	原案可決
議案第112号	南越前町営駐車場等の設置及び管理に関する条例の一部改正について	令和5年12月15日	原案可決
議案第113号	南越前町国民健康保険税条例の一部改正について	令和5年12月15日	原案可決
議案第114号	南越前町手数料徴収条例の一部改正について	令和5年12月15日	原案可決
議案第115号	南越前町南条創作工房の設置及び管理に関する条例の廃止について	令和5年12月15日	原案可決
議案第116号	南越前町今庄365スキー場の設置及び管理に関する条例の一部改正について	令和5年12月15日	原案可決
議案第117号	南越前町地域優良賃貸住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について	令和5年12月15日	原案可決
議案第118号	南越前町下水道事業の設置等に関する条例の制定について	令和5年12月15日	原案可決
議案第88号	令和4年度南越前町各会計歳入歳出決算認定について	令和5年12月15日	認定
議案第89号	令和4年度南越前町水道事業会計決算認定について	令和5年12月15日	認定

一般質問



坪川 伸理

一、犯罪被害者支援条例  
について

**問** 県内では越前市が平成24年に制定、福井県は令和3年4月に施行されている。来年度施行予定で検討を進めている自治体もあると聞いているが、当町は検討しているのか伺う。

**答** 町長 犯罪被害者や遺族は身体面だけでなく心理面の負担が大きくなるほか、突然住居を失ってしまうことや経済的な負担が生じることで、仕事や学校に行けない、外出できなくなるなど社会面への影響が出るため、行政による支援が必要と考えております。また、周りの住民や事業者、各種団体など社会全体の理解と協力も不可欠であることから、福井県や越前市のように関係者の責務を条例により明記することも有効と考えております。現時点において被害者等からの相談があった場合に

は、公益社団法人福井被害者支援センターが行っている専門相談員による面談や弁護士相談などの支援を活用することを想定しております。今後、被害者や遺族の方が安心して平穏な生活を送るためにはどのような支援が必要か議論を深めたうえで、条例制定を含めた方策を検討してまいります。

**答** 総務課長 犯罪被害者等の支援に特化した条例を制定している市町村は、全国では令和4年4月現在約26%、県内においては越前市のほか、坂井市などが令和6年4月の施行に向けて準備を進めていると聞いております。一方、条例を制定していない市町村の理由としては、専門的な知識を持つ人材の不足、被害者等からの相談が少なく必要性が低い、県や関係団体との役割分担が不明確などの課題が挙げられております。今年7月には、県主催による市町の条例制定に関する説明会が開催され、被害者等に対する理解や支援の内容等についての情報提供があったところであり、今後も被害者等の身に何が起きるのか実態をよく知り、専門性のある人材の育成・確保などの支援体制について検討してまいります。



山本 徹郎

一、宅地分譲地整備計画  
について

**問** 人口減少が進む当町においては、移住者、定住者の増加は地域活性化に向けた必要不可欠な要素となる。ニーズに即した宅地分譲地や集合住宅の充実を図る必要があると思われるが、令和6年度以降の宅地分譲地計画について伺う。また、計画中の宅地があるのであれば、予定区画数について伺う。

**答** 町長 本町の人口動態は、3町村が合併した時点で1万2千909人でしたが、12月1日現在で、9千628人となり、合併当初と比べ3千281人減少しています。特にここ5年間は年間200人前後のペースで、1千人以上が減少しており、人口減少は非常に加速化している状況です。このような状況に歯止めをかけるため、分譲地の新規造成に向けて全力で取り組んでおり、現在、町内2箇所を整備計画を進めており

ます。1箇所目は、東大道地係にある矢部団地から国道365号を挟んだ南西側の土地、約9千平方メートルに、第3期の東大道団地として、23区画程度を計画しており、今定例会において測量設計業務の費用を予算計上させていただいています。2箇所目は、湯尾地区内にて、候補地選定に向けて検討を進めているところです。今後のスケジュールについては、測量設計、土地購入や登記の手続き、造成工事などを経て、販売開始までに概ね1年8か月程度の期間を要しますので、令和7年度中の販売開始を目指しています。

今後も引き続き、本町の人口減少に歯止めをかけ、子育て世代や新婚世帯など若い世代の定住を促進するため、新たな分譲地の整備について強力に押し進めてまいります。



第3期東大道団地予定



高谷直樹

一、鉢伏山エリアの今後の事業計画について

問 昨年、鉢伏山エリア全体の基本構想を、年間通して活用する事を目的に(株)スノーピーク地方創生コンサルティングに委託されたが、提案された基本構想をどのように生かし、今後どのような年次計画を立てられているのかを伺う。

答 町長 (株)スノーピーク地方創生コンサルティングからは、冬期間のスキー場運営にグリーンシーズンを加えた通年型のリゾート地として整備していく方針が提案されていますが、現在、この基本構想を基に既存施設の再利用または廃止と新たな施設を導入するための基本計画を策定中であります。今後は、令和6年度から実施設計を行い、令和7年度から数年に分けて施設を整備していく計画であります。

問 スキー場周辺には、木ノ芽峠や旧板取宿などいくつかの名所

旧跡があるが、今後どのように活用されていくのか、さらにどう保存されていくお考えなのかを伺う。

答 町長 木ノ芽峠には、前川家や木ノ芽峠城塞群など多くの町指定の文化財があります。その中でも鉢伏城跡は鉢伏山の頂上に位置し、日本海が一望出来る絶景スポットである事から、スキー場から山頂までトレッキングするため登山道や頂上展望台の整備を進めると共に、これらの名所史跡を紹介していくための看板やサインを整備し、観光資源として最大限活用していけるよう検討していきます。

答 教育長 鉢伏山一帯の名所旧跡を観光資源として町の活性化に役立てていくと同時に、適正に管理・保存していく事が重要だと考えます。一方で、国の登録有形文化財1棟を含む旧板取宿の茅葺きの民家は、今後、居住者の方々と協議を重ねながら、観光資源としての在り方を模索するとともに、将来的には戸数を限定する、あるいは移築するなど様々な方向性を検討していきたいと考えています。



山本 優

一、公共施設の維持管理について

問 当町は広く学校、公民館、文化施設などが点在し、特に町の中心部から離れた公共施設の一部では、外壁がはがれるなどの状況が見受けられ、放置すると施設の老朽化を早めることにもなる。緊急の応急措置が必要になった時を含めどのような対応をしているのか、また今後の維持管理の考えを伺う。



施設の外壁部分

答 町長 公共施設については、人口減少による影響と施設の老朽化を勘案しつつ、財政負担の軽減、平準化を図りながら適切に管理していく必要があります。日常の点検は町や指定管理者などが行っており、破損箇所があった場合は、専門業者の意見も参考に費用対効果を検討しながら予算措置をしております。特に緊急の処置が必要

な場合は予備費を充当して対応しております。今後も破損個所の早期発見に努め住民の皆様が安心して施設を利用できるように取り組んでまいります。

問 公共施設の維持管理について、工事にもう少し工夫があったらよかったと感じる部分も見当たります。町の工事発注する際の業者選定の方法や配慮されていることについて伺う。

答 町長 業者選定については公共施設における同種又は同規模の履行実績を確認するとともに、契約履行できる技術力を持っているかを前提に、地域経済の発展、技術力の向上を目的に地元業者の受注の機会増大に努めております。さらに、一定規模以上の工事につきましては、より品質の優れた調達を行うため、価格以外の能力等を審査、評価をする総合評価落札方式を採用しているところがあります。今後は、例えば特殊な建築物等における設計委託業務において、企画・提案能力のある業者を選ぶプロポーザル方式の採用を検討していきたいと思っております。また、町職員による適切な監理、監督に努め、公共施設の適切な維持向上を図ってまいります。



加藤伊平

一、消防水利について

問 令和5年は町内で5件の火災があったが早期消火で大事に至らず関係者に感謝する。消火では水の確保が重要で、最も多いのは消火栓である。新たな住宅団地などの消火栓はどうなっているのか。建物密集地には複数の消火栓が必要と思うが、設置基準はどうなっているか伺う。

答 総務課長 消防水利の設置基準では、防火対象物から直線距離140m以下、貯水量40m以上、連続40分以上の供給能力などとされており、水利施設の配置は消火栓に偏ることのないよう考慮しなければならぬとされています。新築住宅の水利は、南越消防組合が町や集落からの情報を基に現状を把握しております。今後とも、消火活動に支障がないよう、南越消防組合や水道事業管理者と連携し、適切に対処してまいります。

二、自警消防隊の支援について

問 集落毎に自警消防隊があり、消火栓の点検、管理など重要な役割を果たしている。若い人が地域に関心を持って活動をしてくれることは大変ありがたいが今後、町を担ってくれる人材として期待もできる。町でもっと支援できないか伺う。

答 町長 自警消防隊は高齢化や若者の担い手不足などから十分な活動ができない組織も見られます。組織を活性化するための町の支援は必要と考えておりますので、活動意欲の高い自警消防隊に対する支援をさらに充実することを検討し、地域防災力の維持・向上に努めてまいります。



自警消防隊の操法ポンプ大会の様子

総務文教常任委員会  
行政視察報告

11月14日、15日の2日間で総務文教常任委員会の行政視察を実施しました。

一日目は、富山市役所にて公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりについて活力都市創造部交通政策課職員より説明を受けました。



富山市役所での研修

今後、本格化する人口減少や超高齢社会に対応したまちづくりを進めるため鉄道をはじめとする公共交通を活性化させ、その沿線に

居住・商業・業務・文化等の都市の諸機能を集約させることにより、車がなくても安心して生活できる集約型都市構造への改変を指しているとの説明を受けました。結果、居住促進誘導区域では、固定資産税、都市計画税などの収入が17%増え、移住者も年間300人増にて20代、30代の年齢層が多いとのことでした。郊外中山間部の交通として、車両経費、運行経費、事務経費等の補助を行っていますが、あくまでも事業主体は地域であり、地域が自主運行を行っている事業に対する補助であり、当町では難しいと感じました。

午後からは富山市立ガラス美術館、富山県立美術館を視察しました。「文化と芸術が融合するまち」を標榜するだけあり、市役所や美術館のおもてなし体制が素晴らしいと徹底されていると感心致しました。館内の至る所に親子連れで利用しやすいように工夫がなされており、子ども達が小さい頃から芸術・美術に触れ合えるよう取り組



みがなされておりました。

二日目は北前船寄港地岩瀬大町を訪れ、江戸時代から明治にかけて北前船の廻船地として廻船問屋が多く営まれていた街並みを視察いたしました。平成30年に国の重伝建日本遺産に認定されており、この通りは電柱が無く、電話線を地下埋設にし、工費を安くあげるため軒先配線してあるとのことでした。当町にも北前船主右近家並びに中村家があることから、今後益々の誘客の増加施策に注視してまいります。



岩瀬大町の街並み視察

## 産建厚生常任委員会 行政視察報告

11月16日、17日の2日間で産建厚生常任委員会の行政視察を実施しました。

一日目は鳥取県八頭郡智頭町を訪れました。かつて宿場町であった智頭町内に空き家を活用したジビエ料理を提供するお店がありました。地元で捕獲された鹿肉を解体処理する施設が町内にあり、衛生管理された肉を提供出来るようになっていくとのことでした。

次に、同町に本社がある智頭急行(株)を視察しました。目的は、今年北陸新幹線金沢・敦賀間が開業するにあたり、現在の路線を新たに(株)八ピラインふくいとして運営するが、事業計画自体、赤字経営であるため、少しでも改善できる施策を探るためです。智頭急行(株)は特急列車に関する収入が営業収益の9割を占めており、そのため特急列車の運行本数が経営を大きく左右することでした。黒字経営でありましたが、コロナ禍時



智頭駅

は赤字となり、現在、コロナがら類となって以降はインバウンド客も増加し回復し始めているとのことでした。行政との観光客誘致への取組みについてお聞きしたところ、沿線に3つの宿場町を周遊する観光を企画したり、駅舎に年2回名誉駅長制度を設け、町の功労者を名誉駅長として任命し親しみやすさを生み出したりとするものであります。智頭急行が抱える課題としては、列車の安全対策として、落石防止策や獣害侵入防止策の設置等の検討や、気動車の更新時期が迫っているため、現行車両の延命か次世代車両への更新化の、検討が進められており、これ

らの課題を解決するには、多額の財源を要するため、今後は更なる特急乗客の利用促進を図る施策が求められているとのことでした。八ピラインふくいも、当町の4駅をどのように活用して誘客に繋げるかを知恵を出し合い取り組んでいかねばならないと感じました。



智頭急行(株)本社での研修

二日目は岡山県倉敷美観地区を視察しました。全国に先駆けて背景保存条例が制定され、老若男女問わず多くの観光客で賑わい、特にインバウンドが進んでいる印象を受けました。当町も何を観光客にアピールするのか目的をしっかりと見据えて長い目で取り組んでいく必要があると思います。

# 臨時会報告

## 1月臨時会

1月19日に1月臨時会が開催され、令和5年度農業集落排水特別会計補正予算及び一般会計補正予算などの専決処分の承認に関する3議案、戸籍の広域交付にかかる手数料徴収条例の一部改正に関する

る1議案、町道河内奥野々線の道路災害復旧工事に関する工事請負契約の締結について2議案の合計6議案を上程し、採決の結果、原案のとおり可決しました。  
また、物損事故による損害賠償の額の決定に関する専決処分事項の報告がありました。

## 【1月臨時会議決結果】

議案番号	件名	議決年月日	議決の結果
議案第1号	専決処分の承認を求めることについて（令和5年度南越前町農業集落排水特別会計補正予算（第5号））	令和6年1月19日	原案承認
議案第2号	専決処分の承認を求めることについて（令和5年度南越前町水道事業会計補正予算（第5号））	令和6年1月19日	原案承認
議案第3号	専決処分の承認を求めることについて（令和5年度南越前町一般会計補正予算（第8号））	令和6年1月19日	原案承認
議案第4号	南越前町手数料徴収条例の一部改正について	令和6年1月19日	原案可決
議案第5号	工事請負契約の締結について	令和6年1月19日	原案可決
議案第6号	工事請負契約の締結について	令和6年1月19日	原案可決

# 今庄365温泉やすらぎ 待望の営業再開!!

「今庄365温泉やすらぎ」は一昨年の記録的な大雨により施設に向かう道路やお湯を排水する配管が壊れるなどして休業となっておりましたが、昨年10月に営業再開されました。



やすらぎ温泉 露天風呂

「今庄365スキー場」はコロ

ナ禍の営業による休業を含めると4年振りの再開となり、今季はリフト4基のうち、規模を縮小して第1ペアリフトのみ



スキー場から白山を望む



冬キャンプ

を運行し、初級、中級、上級者向けの3コースを開放してのスタートとなりました。  
令和4年6月から鉢伏山エリアで新しくオープンしたキャンプ場の「365 Green Village」も、オープン後間もなく休業を余儀なくされましたが、昨年7月に営業を再開し、初めての冬を迎えたキャンプ場では、白銀の冬キャンプを楽しませている方もいらっしゃいました。  
今後、オールシーズンで鉢伏山エリアを訪れる利用客の増加に期待しています。

# 南越前町議会の 主な活動報告

●11月28日

福井県町村議会議長会による県選出国会議員への要請活動が行われ、議長が出席

●11月29日

全国議長大会および豪雪議長大会がNHKホールで開催され、議長が出席

●11月30日

嶺北町村議会議長会研修会が東京で開催され、議長が出席

●12月1日

防犯隊連合会による年末警戒（県下一斉年末特別警戒）



町村議会議長全国大会



中央要請活動

戒)の出発式が南越前町役場で行われ、議長が出席

●12月4日 23、24シーズン今庄365スキー場で開催され、正副議長、総務文教常任委員長、産建厚生常任委員長が出席

●12月5日 社会福祉法人ほのぼの苑理事会在南条保健福祉センターで開催され、議長が出席

●12月9日 南越前消防団定例幹部会が花はす温泉そまやまで開催され、議長が出席

●12月16日 令和5年度第49回水仙まつり開会式が福井市越廼公民館で開催され、議長が出席

●12月20日 第31回はすまつり投げ会表彰式が南越前町役場で開催され、議長が出席

●1月5日 令和6年南越前町交通安全祈願祭が白山神社で開催され、議長が出席

●1月5日 体験農園施設「FRUITFUL GARDEN」の「実」竣工式が牧谷で開催され、正副議長、産建厚生常任委員長が出席

席



ひのの実オープン式

●1月7日 令和6年はたちのつどいが南越前文化会館で開催され、正副議長のほか議員9名が出席

●1月10日 武生医師会新年会が越前市うおとめで開催され、議長が出席

●1月15日 県町村議会議長会による県知事との懇談会が開催され、議長が出席

●1月17日 ほのぼの苑事例研究発表会が南条保健福祉センターで開催され、議長が出席

●1月25日 丹南広域組合議会例会出納検査が南越前町役場で開催され、副議長が出席

●12月からの主な会合  
全員協議会  
12月9日、15日、19日  
議会運営委員会  
12月1日、2月1日  
広報特別委員会  
12月15日、1月11日、31日

令和6年能登半島地震により被害に遭われた皆さまへ

心よりお見舞いを  
申し上げます

令和6年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」により、犠牲となられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。

また、被災された皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。

被災地においてご尽力されていらっしゃる方々に敬意を表するとともに、被災地の皆さまの安全と一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

被災地支援に役立てていただくため、義援金10万円を福井県町村議会議長会を通じて石川県町村議会議長会へ送付することを令和6年1月19日に開催した全員協議会で決定いたしました。

南越前町議会議長

喜村 喜代治

# 待ってました!! あなたの出番です!



## 「ママはなにもないよ」と言われた地域に人を呼ぶ「地域まるっと体感宿 玉村屋」とは?

地域まるっと体感宿 玉村屋  
野村直樹、中谷翔

2016年春。南越前町に移住してきた私たちに、地域の方々が口を揃えて言ったのが「ここにはなにもないよ」ということ。野村は新規就農として、中谷は地域おこし協力隊として、この町に移住してきましたが、私たちからすると、心休まる自然があり、知的好奇心をくすぐられる暮らしの文化が残っている、そして安心できる「人との繋がり」がある。そんな「宝物」が溢れている場所に見えました。

この地域を「もっとワクワクするものにするお手伝い」をしたい。

そう考え、地域の暮らしを体感できる宿屋を開業することになりました。当宿では「地域の日常におじゃまる」をテーマに、地域の方々の農業や林業、獣害対策などのお仕事、趣味のチューリップ栽培や家庭菜園、餅つきなどの家族行事に宿泊された方をご案内しています。宿泊や日帰り体験、イベントなどを含めると例年400名以上の方々が「南越前町の日常」を楽しんでくれ、リピートしてくださっています。



お客様と一緒に

ここに住む私たちの「当たり前の日常」であっても、外からここを訪れる方は「異日常」として、これを体験しに訪れてくれます。当宿に県外からいらっしゃる

方の特徴としては、初めて福井県に訪れ、南越前町にやってくる方が多いということ。東尋坊、永平寺、恐竜博物館などの有名観光地ではなく、南越前町の「暮らし体験」を目的に、東京や京都、名古屋から人々がやってくるのです。



団らん

当宿は2019年2月に開業し、地域の皆さんに支えられ、まもなく開業5周年を迎えます。これからも、全国の方々に「南越前町」を知ってもらえるよう他の地域にはない滞在体験を提供していきたいと思えますので、「うちの家族行事に、人が来てほしい」「訪問してくれた人とこんなことをやりたい」などありましたら、お気軽にお声がけください!



<https://www.instagram.com/tamamuraya/>



<https://tamamuraya.jp/>



## 編集後記

令和6年は痛ましい年明けとなりました。能登半島地震で多くの方々が被災され、犠牲にもなられました。ここに衷心よりお見舞いとお悔やみをお申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

改めまして、町民の皆様、明けましておめでとございませう。いよいよ3月16日に、北陸新幹線が敦賀まで開業されます。県をはじめ、それぞれの自治体が100年に一度のチャンスと捉えて、観光業などいろいろな分野での事業に取り組んでいることと思えます。本町においても新たな事業を展開し、交流人口の増加と地域特産品の益々の増加へと繋げ、大いに盛り上げていくとともに、町民の皆様の飛躍の年になりますようご祈念申し上げます。(大浦)

